

本
日
信託
エスクロー

倒産隔離機能を活用

提供メニュー充実

日本エスクロー信託は、信託の倒産隔離機能を生かし、決済資金
保管(エスクロー)技術を駆使した商品・サービスの開発に注力し
具体的には、金融機関を含めたネットワークの構築、信託
代理店、地域金融機関との連携などネットワークの整備などを

実施している。

同信託は、07年1月に営業を開始。設立以来、顧客の声をできるだけ具現化していくことを基本に取り組んできた。この結果、M&A取引で取引成立後の履行義務条項を待つ資金決済を行う「瑕疵

担保留保金エスクロー信託」などを開発、好評を得ている。さらに住宅建設の場合に、委託者(買主)と工事請負者の間にエスクロー信託を駆使し、買主から工事請負者の倒産リスクヘッジする「工事代金進ちょく管理分割

支払い方式」を開発、8月以降本格的に提案している。また、賃貸物件オーナーと物件管理会社の倒産リスクを遮断する家賃信託など

20種類以上のメニューを開発し提供中。「開発だけではなく、既存商品の利便性も順次向上させていく」(営業部)としている。

ネットワークでは税理士、司法書士などを通じ業務提携、遺言信託など信託代理店、地域金融機関などとの連携拡大にも注力する。